



令和6年度

志和池小だより

くすのき



第2号

令和6年6月28日
都城市立志和池小学校

【学校運営協議会】

地域に見守られ地域とともに発展する学校

「学校運営協議会」（コミュニティスクール）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」を推進するための仕組み・組織です。地域の方々に「学校の応援団」「学校経営の参画者」として活動していただくものです。

学校運営協議会の委員の皆様には、学校経営に関する校長の方針を承認していただいたり、方針に沿った手立て等について話し合ったり助言をいただいたりします。

6月19日（水）に今年度第1回目の学校運営協議会を開催し、学校経営について御承認いただきました。

本年度の学校運営協議会委員は次の8名の方です。

長崎 孝仁 様（志和池地区まちづくり協議会副会長）、黒木 政信 様（志和池地区社会福祉協議会事務局長）

上原 正人 様（志和池地区まちづくり協議会青少年育成部長）、東 智恵子 様（元主任児童委員）、

楠牟礼 和幸 様（主任児童委員）、高田 昌彦 様（さくらんぼこども園園長）

佐土原 正次 様（らいおんキッズクラブ施設長）、平山 五記 様（本校PTA会長）

「ありがとう」って連鎖するんだ

志和池小学校では、「1日10回ありがとう」を合い言葉に、「ありがとう」があふれる学校を目指します。6月11日に志和池小を訪問された方からの情報です。給食の前に、1年生の男の子がトイレのスリッパを並べていたら、それを見ていた5年生の男の子が、「ありがとう」と声をかけたのだそうです。また、それを見ていた先生が、その5年生に「ありがとう」と声をかけてくれたことに「ありがとう」と声をかけたそうです。

その先生によると、「ありがとう」を言う5年生は、高学年らしい自信のある頼もしい表情をしていて、「ありがとう」と言われるときは、うれしそうな笑顔だったそうです。当然、それを話すその先生もうれしそうです。これを読んでいる方も笑顔になっていることでしょう。

「ありがとう」は連鎖するんだ。



計算の仕方を説明したよ （子どもたちが主役の授業に向けて）

6月11日は学校訪問での研究授業を3年生と6年生で行いました。

こちらは3年生の様子。

「302-165」の筆算の仕方を考え、それを説明する学習をしました。

まず、自分で考えたらペアやグループで話し合いました。

ノートの書いている子もいれば、タブレットで考え話し合っている子もいます。

その後、全体で話し合いました。

おや、この写真は3人の子どもが立っています。

①一人が筆算の仕方を説明しています。

②それを聞きながら、もう一人が説明のこたばを並べています。

③さらに、もう一人が計算棒を動かしながら実演しています。

3人は打ち合わせしているわけではありません。説明がわかりやすく相手に理解できなければ成立しません。

聞いている子どもたちも、しっかり指摘しながら学習を進め、よりよい説明をみんなでつくっていききました。

そして最後に、筆算を仕方の説明を一人一人が動画に記録しました。

自分の考えを説明することで、理解を深めます。そして、思考を働かせます。

子どもたちの感想に、

「2年生まではあまり発表してなかったけど、発表したらちゃんと説明できて、答えもあってうれしかったです。これからも発表したいです。」

とありました。

自分自身の成長を感じているようです。

子どもたちが自ら考え説明し合う、子どもたちが主役の授業を目指します。

